

2025年3月18日

## 子育て支援の一環として、 「設置型ベビーケアルーム『mamaro™』」を5自治体に寄贈

第一生命保険株式会社(代表取締役社長:隅野俊亮、以下「当社」)は、43都道府県、427の市区町村と「包括連携協定」を締結し(2025年1月現在)、それぞれの地域の課題解決に向け、全国の支社・営業オフィスにて健康増進、高齢者や子育て支援、女性活躍推進、地域活性化などさまざまな取り組みを行っています。

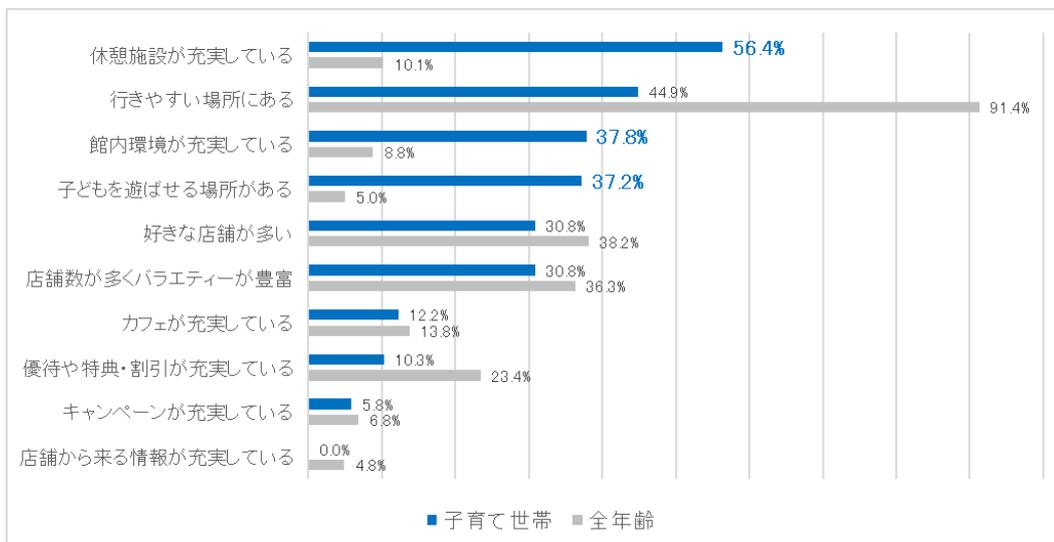
今回、「子育て支援」の一環として、全国5つの自治体に「設置型ベビーケアルーム『mamaro™』」(以下『mamaro™』)の寄贈・設置を行いました。

### 『mamaro™』寄贈に至った背景

ベビーケアルームは、多くの子育て世帯が利用する「必須設備」であるにも関わらず、設置数の不足という「数」の課題を抱えています。また、設置されていたとしても、プライバシーやクリンネスの観点で課題のある施設も少なくなく、「質」の課題も同時にあると言えます。Trim社が行った調査では、商業施設への来店理由として、子育て世帯は休憩施設や館内環境、遊び場など共用部やハード面を重視する傾向があるとの調査結果が出ており、ベビーケアルームの課題は子育て世帯の外出を妨げる一因となっていると考えられます。

こうした中、当社では、ベビーケアルームの「数」と「質」の双方の解決策の一助となり、SDGs 目標の「住み続けられるまちづくりを」への対応に資する取り組みとして『mamaro™』の寄贈を行いました。

### 【商業施設の来店理由(Trim社調べ)】



【『mamaro™』利用者の声】

- 内装が綺麗で、鍵付きの個室のため安心して使うことができる。
- 以前は1か所しか授乳コーナーがなく、待ち時間も発生していたが、授乳できる場所が増えたことにより利便性が向上した。

関連する SDGs 目標	関連するターゲット
 <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	11-7 2030 年までに、特に女性や子ども、お年寄りや障がいのある人などをふくめて、だれもが、安全で使いやすい緑地や公共の場所を使えるようにする。

【寄贈先】千葉県袖ヶ浦市、石川県七尾市、愛知県豊橋市、滋賀県大津市、福岡県福岡市

「次代を担う子ども」が安心して生まれ、健やかに育まれ、地域がより一層明るく豊かになっていくことは、「安心」を持続的に提供していく生命保険事業を営む当社にとっても重要です。本寄贈も地域連携の一つのシンボルとし、今後もより一層、各自治体との連携を通じ取組みを進めてまいります。

【『mamaro™』(Trim 株式会社製造)の特徴】

- 全国 45 都道府県、累計 794 台導入(2025 年3月 18 日現在)。とりわけ 2023 年度は全国 200 台以上の設置となり、多くの子育て世帯の“おでかけ”を応援しています。
- 完全個室(施錠付)で、安心して「授乳」「おむつ交換」といった一連のベビーカーケアができます。

【『mamaro™』のイメージ】



【寄贈先の自治体(順不同)】



石川県七尾市に金沢支社から寄贈



千葉県袖ヶ浦市に千葉総合支社から寄贈



愛知県豊橋市に豊橋営業支社から寄贈



滋賀県大津市に滋賀支社から寄贈



福岡県福岡市に福岡総合支社から寄贈

【Trim株式会社 会社概要】

商号	Trim 株式会社(トリム株式会社)
本社所在地	神奈川県横浜市中区諏訪町 16 番
代表者	長谷川 裕介
設立	2015 年 11 月 2 日
資本金	1 億円
ミッション	よりよい子育て環境を提供する
事業内容	設置型ベビーケアルーム『mamaro™』※の製造・販売 ※授乳用ユニット・特許取得済 授乳室検索アプリ「mamaro GO※」の提供 ※ユーザーには無償提供